次期モデルプロジェクトが目指すもの

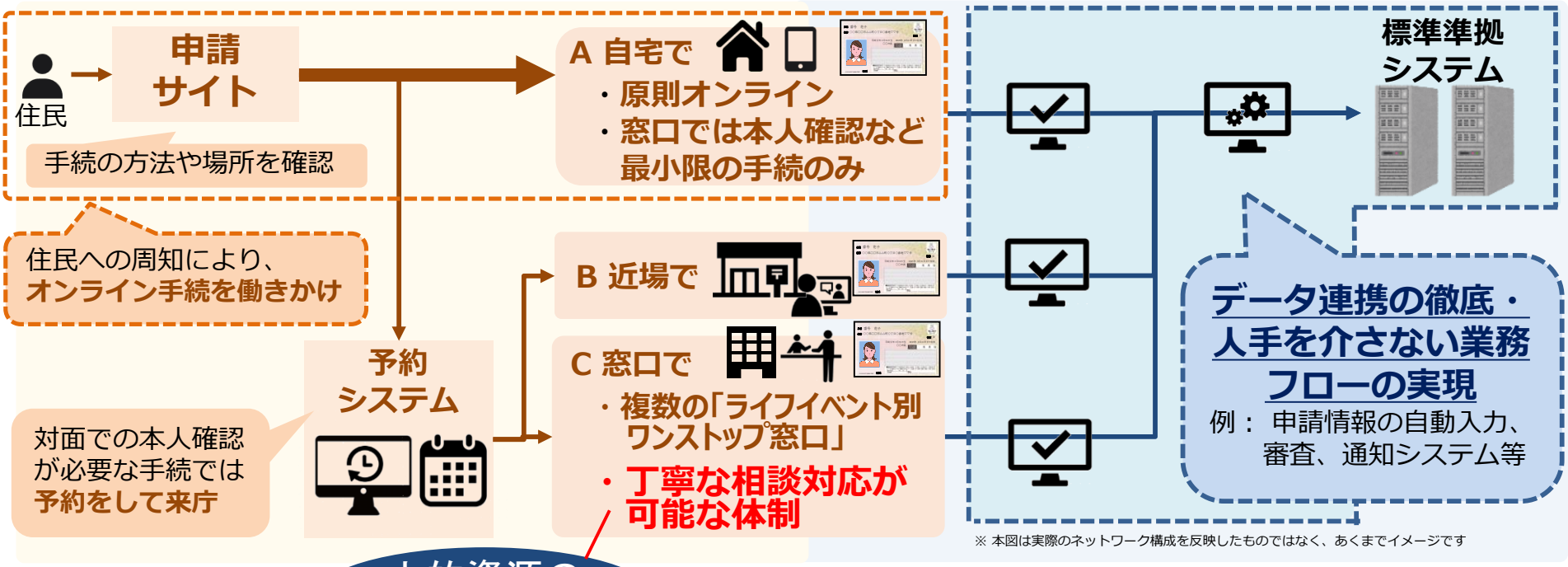
目指す姿

①住民の希望に沿った窓口の実現

- 原則オンライン、窓口手続は最小限
- 丁寧な窓口対応を希望する住民に寄り添える体制の構築

②職員の時間を生み出す業務フロー

- フロントヤード↔バックヤードのデータ連携強化
- データ分析の活用による窓口業務の改善・企画立案業務の充実



人的資源の最適配置

都道府県と管内市町村が連携して、**システムの共同利用・調達**

各種データを分析・活用した企画立案

申請データ等の分析・活用により**処理状況・課題の「見える化」**

窓口業務の改善

（例）来庁者数の実態を踏まえた受付時間の変更などによる業務ミーティングの時間確保等